



凜として

呉市立片山中学校
学校通信 第8号
令和5年1月31日

呉市東片山町 13 番 5 号

Tel : 0823-21-4995

Fax : 0823-24-9847

E-mail : katc@kure-city.jp

卵の如く、力強く飛躍する年に

3 学期始業式 西原校長式辞より

令和5年が始まりました。今朝、玄関ではいつもより立ち止まって声をしっかり出して挨拶してくれる人が多く感じました。冬休みに良い時間をもつことができたのだらうと思います。

このお正月休みはよいお天気に恵まれましたので、私は初日の出を拝み、暖かな日差しの中で初詣に出かけました。仕事はあまり進まなかったのですが、ありがたいことに、普段会えない家族と穏やかに過ごすことができました。

さて、冬休みに読んだ本の中に、医師の中村哲さんの娘さんが、お父さんの思い出を記されたエッセイが載っていました。アフガニスタンで長年、医療活動や水路を切り拓くなどの人道支援活動に取り組んでおられた中村さんについては、授業や図書室の本などで学んだ人も多いと思います。素朴で気取らずおおらかなお父さんだったそうで、何でも白黒付けがちな娘さんに対しては、

「いろんな立場や状況がある。相手がどんな思いなのか、自分の枠に当てはめずによく考えることが大切で、何もかもを明らかにしたらよいというものではない」

と、おっしゃったことがあったそうです。政治的に不安定な国で長年人々のいのちを救うために尽力された、中村さんらしいお言葉だと思えます。

中村さんの命を奪ったアフガニスタンのテロリストや、ウクライナとロシアの戦争に限らず、近年、自分と違う考え方や自分の感性に合わないものを受け付けようとしない風潮が日本にもあります。世の中にはいろいろな人がいて、それぞれに正しいと思うこと、つまり、「自分の枠」をもっています。自分自身もまたその中の1人なのですが、自分の価値観だけが正義と思い込んでものごとを見て、良いとか悪いとか、決めつけてしまいがちです。

しかし、世の中は「多様性」に満ちています。違うもの同士が触れあうことで新しい可能性が生まれるのが「進化」です。そのためには、中村さんがおっしゃったように、自分の枠に囚われず、まず、相手の心の声に耳を澄ませて聴き合い、その上でよく考えて行動することが大切です。耳にした情報に反射的に白黒つけるようなことをしては、発展も深まりもありません。

今学期、3年生の進路実現、2年生の修学旅行、1年生の絵本会が予定されていますが、いずれも自分の頑張りと同時に、たくさんの他人との交流がキーポイントとなりますから是非大切に、よりよい成果につなげてください。

先週の新聞に、新年に当たってということで、歌人の栗木京子さんの歌が紹介されていました。

「かたまりてあるとき あたたかさうに見ゆ 黄の水仙も白き兎も」

冷たい空気の中で花束のように美しく咲く黄色の水仙。身を寄せ合うもふもふの白ウサギたち。想像するこちらも心がホカホカしてきます。

1年で最も短い3学期です。全学年が揃うのもあと2か月となりました。うさぎは3キロメートルも離れた物音も聞き取るそうです。私たちも、しっかりと心の耳を澄ませ、今までよりも広い範囲から情報や知識を得、他の人の心の声をよく聞いて深く思考し、力強く飛躍する年にしていきましょう。

そして、みんながいることとで心が温かく、
花の香りが満ちるような素敵な学校生活になるよう、
力を合わせていきましょう。



片中版ヤングスポット

修学旅行記<2 学年>



2日目 (1/25)

京都市内班別自主研修



3日目 (1/26)

USJ

いつも 100 分以上待ち時間があるマリオカートに乗れて良かった。しかし、アトラクションでしっかり回らされて酔ってしまい2時間くらいロスしたが、ダウンしている時、色々あって楽しかった。添乗員の新木さんや田鍋さんが、ここだけの話を教えてください、MKタクシーとの打合せやアニメの話に至るまで、たくさんのことを知ることができたからだ。酔ったことで、ただアトラクションに乗るだけでは得られなかった体験や情報を得ることができた。(仁井君)

1日目 (1/24)

神戸中華街、人と防災未来センター

1 日目に訪れた人と防災未来センターでは、阪神淡路大震災の映像を見ました。うめき声や泣き声、叫び声がたくさん聞こえました。一番印象に残ったのはマンションがジェンガのように崩れていったことです。小さな地震しか体験したことのない私には想像もできないことでした。私たちは過去の悲劇を繰り返さないために、小さい頃から防災訓練をして自然災害について学んでいるのだなあと思いました。身の回りで起こり得る災害に常に備えていきたいです。(坂田さん)

美術で習った大仏などたくさん見ることができました。授業で写真を見るのと実物を見るのとは迫力が全然違うので、すごく細かく彫っており、大きさにびっくりしました。お寺の大きさやお寺までの道のりなど感動しました。ガイドさんもその土地の方が教えてください、少しマニアックな話など、細かいところまで知ることができて、良い経験ができました。(古川さん)

班別自主研修では、当時、京都市内は雪が降っており、歩くのにとても苦労しました。そのような中ではありましたが、金閣・清水寺・嵐山といった自然や歴史を感じることでできる場所へ行くことができました。特に金閣(鹿苑寺)は雪をかぶっていて白と金という色の組合せはとても美しいなあと感じました。室町時代より続く歴史のある建築物を雪と共に見られたことも、足利義満が当時持っていた財力や権力を、身をもって知ることができたことも、とてもいい思い出になりました。(佐藤君)

10年に一度という大寒波に見舞われましたが、雪の風情も味わいながら、無事に修学旅行を終えることができました。生徒の振り返りを読むと、出会いや新しい発見も多くあり、充実した3日間を過ごしたようです。また、生徒一人一人が自分の成長を体感できた修学旅行でした。



- 2日 (木) SC来校日
- 3日 (金) 絵本会 (1年)
- 6日 (月) 学校朝会
- 8日 (水) 生徒会各委員会
- 10日 (金) 学年末試験発表 (1・2年)
- 13日 (月) 生徒朝会

2月の予定

- 16日 (木) SC来校日 (12時まで)
- 20日 (月) ~ 22日 (水) 学年末試験 (1・2年)
- 27日 (月) 公立高校一次選抜 (学力調査)
- 28日 (火) 公立高校一次選抜 (自己表現)



体罰・セクハラ等相談窓口について

本校では、体罰・セクハラ等相談窓口を設置しています。担当は、古本 由利(ふるもと ゆり)教頭、三宅 友和(みやけ ともかず)生徒指導主事、渡邊 幸江(わたなべ ゆきえ)保健主事、須和田 美穂(すわだ みほ)スクールカウンセラーです。困ったことや相談したいことがあればいつでも相談してください。相談は電話や手紙でも大丈夫です。相談者のプライバシーの保護及び秘密の保持を徹底します。みんなで安心して過ごせる居心地のよい片山中にしていきたいです。